

2025 (令和7)年度
一宮市の予算

イチ推し20

<2025（令和7）年度 予算の規模と概要>

○一般会計：1,443億1,000万円

※過去最大規模（H30から8年連続で過去最大を更新）

（2024（令和6）年度 1,355億4,000万円）

前年比：87億7,000万円の増額 +6.5%

※主な増額 民生費：+48.3億円 消防費：+14.6億円

○全会計：2,798億9,209万2,000円

（2024（令和6）年度 2,691億5,753万5,000円）

前年比：107億3,455万7,000円の増額 +4.0%

※一般会計以外の会計の主な増減

介護会計：+13.4億円 外崎区画会計：+3.2億円 国保会計：△3.4億円

下水道会計：+5.9億円 病院会計：+3.6億円 水道会計：△5.9億円

<一般会計の歳入・歳出の状況>

歳 入

○市税：38.5億円の増額 +7.6% ※過去最高額

・個人市民税：26.4億円の増額

R06定額減税影響分（17億円）の回復、個人所得の増など

・固定資産税：6.8億円の増額

新築・増築家屋分の増など

○地方消費税交付金：8.0億円の増額 +9.3%

○地方特例交付金：17.1億円の減額 △80.4%

○地方交付税：12.2億円の増額 +7.9%

（普通+10.0億円 特別+2.2億円）

○国庫支出金：26.3億円の増額 +10.6%

児童手当交付金の増額

○県支出金：7.0億円の増額 +6.7%

障害者自立支援給付費負担金の増額

○繰入金：1.2億円の減額 △2.4%

財政調整基金は過去最高の47億円を取崩し

○市債：0.4億円の減額 △0.6%

臨時財政対策債は制度創設以来初の発行ゼロ（△9.0億円）

歳 出

<費目別>

○民生費：48.3億円の増額 +8.3% 各種給付費の増額

○土木費：10.6億円の増額 +11.6% 流域貯留施設築造工事

○消防費：14.6億円の増額 +34.1% 緊急通信指令システムの更新

○教育費：10.7億円の減額 △8.4%

R06東浅井給食センター施設購入費の減額（△27.8億円）

<性質別>

○扶助費：28.8億円の増額 +7.5% 各種給付費の増額

○投資的経費：12.4億円の増額 +10.6%

緊急通信指令システムの更新・一宮市民会館改修事業

○人件費：9.1億円の増額 +3.9%

会計年度任用職員関連経費の増額

○公債費：2.6億円の増額 +2.6%

01	拡	一宮市のDXを加速させます	総合政策部 地域DX戦略室
02	臨	防犯シティ“いちのみや”大作戦	総合政策部 市民協働課
03	拡	避難所の生活環境改善へ	総合政策部 危機管理課
04	新	ICTによる高齢者見守りサービス導入への助成	福祉部 高年福祉課
05	拡	10月から高校生世代の通院医療費も無料	市民健康部 保険年金課
06	拡	保育料を2人目から減免します	子ども家庭部 保育課
07	臨	給食費の保護者負担を軽減	子ども家庭部保育課 教育部学校給食課
08	臨	新しい保健所がオープンします	保健所 保健総務課ほか
09	新	地域新電力会社の利益でSDGsを推進	環境部環境政策課 活力創造部産業振興課
10	臨	「七夕」&「尾州」でせんいのまちをPR	活力創造部 観光交流課

11	新	道路の損傷状況をAI診断	建設部 道路課
12	拡	スマホでチェック！浸水注意箇所	建設部 治水課
13	新	浅野交差点の渋滞緩和に向けて	建設部 道路課
14	臨	民間活力を活かした旧尾西プールの跡地利用	まちづくり部 公園緑地課
15	臨	キャンプサイトで大野極楽寺公園の魅力アップ	まちづくり部 公園緑地課
16	臨	スマートICと次世代に紡ぐまちづくり	まちづくり部都市計画課 まちづくり部区画整理課
17	臨	119番通報システムのリニューアル	消防本部 通信指令課
18	臨	一宮市民会館を誰もが使いやすい施設へ	活力創造部 指定管理課
19	新	中学校屋内運動場へのエアコン整備に着手	教育部 総務課
20	臨	市川房枝シンポジウムと展覧会を開催	活力創造部 博物館管理課

新 : 新たに取り組む事業

臨 : 臨時的な事業

拡 : 制度・内容を拡充する事業

拡

地域DX推進事業

担当課

総合政策部地域DX戦略室
0586-28-91422025年度
事業費

2億6,183万円

地域DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、データ連携プラットフォームを構築し、産学官連携によるコンソーシアムを形成し、新たな市民サービスの検討・実装を進めることで、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-Being）」の向上を図る。

2025年度は健康支援アプリと子育て支援アプリのデータ連携、スマートロック（電子錠）設置施設の拡大、防災アプリの導入、MaaSアプリとの連携、利用促進のためのキャンペーンを実施する。

一宮市2024.10.1現在人口（377,234人）1人あたり

694 円

主な
経費

生涯健康増進事業データ連携	67,056 千円
公共施設予約・スマートロックシステム	35,294 千円
防災アプリ導入	32,153 千円

主な
財源

国	68,641 千円
その他	40 千円
一般財源	193,152 千円

「健康」「子育て」分野に続き「防災」「交通」分野でもDXを進めます

データ連携基盤を活用し生涯にわたる健康増進を！！

健康支援アプリ



138おやこ手帳アプリ

一生涯のデータを
期限なく保存可能kencomで
138おやこ手帳アプリの
・乳幼児健診結果
・予防接種履歴
などを表示可能に一宮市ポータルサイト
イチ・デジデータ連携基盤
(共通ID)

スマートロックを市内全小中学校に導入完了

2024年度



小学校にも導入

全ての中学校の屋内運動場
一部の武道場全ての小中学校の屋内運動場
全ての中学校の武道場携帯電話に届く「暗証番号」で
解錠可能に

災害に備え、役立つ「防災アプリ」を導入

平 時



防災意識の醸成

- ・避難所の確認
- ・防災用品のチェック

災害時



適切な避難行動

- ・災害情報
- ・避難支援
- ・避難所受付

公共交通をもっと便利に！！

一宮市版MaaSサイト エリア版MaaSアプリ



共通ID

CentX

- ・i-バスのデジタルチケット購入時にイチ・デジの「共通ID」でログイン
- ・年齢割などを実施

臨

防犯用具購入費補助事業

担当課

総合政策部市民協働課
0586-28-86712025年度
事業費

1,323万円

強盗や侵入盗などの犯罪を抑止するために、「防犯シティ“いちのみや”大作戦」を展開し、個人へ防犯カメラやセンサーライトの購入設置費用の一部を補助する。

一宮市2024.10.1現在世帯数（169,130世帯）1世帯あたり		78 円
主な経費	防犯用具購入費補助金	10,000 千円
	会計年度任用職員経費	3,144 千円
主な財源	国	13,228 千円

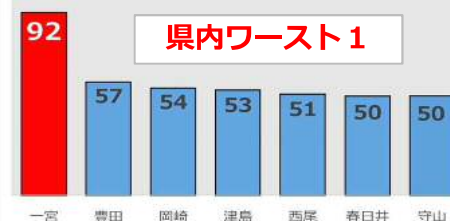
～ 防犯用具の購入費を補助します ～

市、町内会設置の防犯カメラ、防犯灯だけでなく、個人宅に防犯用具を設置することにより「安全・安心なまちづくり」を推進

犯罪情勢

- 「闇バイト」を介する強盗事件による**住民不安増大**
⇒不審業者訪問等による警察への通報増加
- 2024年の被害認知状況
強盗：3件（前年2件）
住宅対象侵入盗：92件（前年69件）

◆ 住宅対象侵入盗（上位7署）



【補助対象者】市内に住民登録のある世帯

【対象経費】防犯カメラ、センサーライトの購入設置費用

【補助率】対象経費の **3/4**（防犯カメラ） 1/2（センサーライト）

（あわせて上限1万円）

補助率の高さで集中的に設置促進



拡

災害備蓄物資充実事業

担当課

総合政策部危機管理課

0586-28-8959

2025年度

事業費

2億4,963万円

災害に備え、食糧や資機材等の備蓄物資を整備する。

近年、頻発化してきている地震や洪水などの大規模災害に備え、携帯トイレや生理用品といった備蓄物資の入れ替え等、見直しを行う。需要が高まっているペットとの同行避難に対応できるよう、指定避難所にスターターキットを配備する。

また、国の防災基本計画の修正に伴い、避難所の生活環境を改善するため、指定避難所（市立小中学校）にパーティション及び簡易ベッドを配備し、新たな簡易防災備蓄倉庫を設置する。

南海トラフ地震想定避難者（84,000人）1人あたり

2,971 円

主な
経費

避難所資機材購入費 227,720 千円

消耗品費 15,052 千円

備蓄物資保管輸送業務委託料 5,567 千円

主な
財源

国・県 53,666 千円

市債 122,000 千円

いちのみや
応援基金 4,983 千円

— 避難所の生活環境改善のため、資機材や備蓄物資の充実を図ります —

令和6年能登半島地震を受け、国が防災基本計画を修正

計画に対する一宮市の主な取り組み

- ①パーティションや簡易ベッドを避難所開設当初から設置
- ②携帯トイレ等の備蓄による快適なトイレ環境の整備
- ③避難所にペットと同行避難した被災者の適切な受け入れ

携帯トイレは
30,000回分を
さらに備蓄

②携帯トイレや
長期保存用生理用品の
備蓄数増

③ペット同行避難
スターターキットを
指定避難所に配備

マニュアル

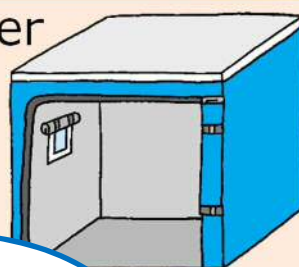
スターターキットとは、避難所までペットと同行避難を行った飼い主が、速やかにペットの受け入れ体制を整えられるよう、必要な物資やマニュアル等をまとめたものです。

Before



- ・プライベート空間の不足
- ・床で就寝

After



- ①パーティション2,000基
簡易ベッド2,000台
配備

防災備蓄倉庫

一宮市

指定避難所への
防災備蓄倉庫の増設

新

ICTを活用した高齢者見守りサービス利用助成事業

担当課

福祉部高年福祉課
0586-28-90212025年度
事業費

108万円

65歳以上のひとり暮らしの方がICTを活用した見守りサービスを導入した場合、サービス提供事業者に支払う初期費用等を助成する。

助成額は上限15,000円で8月から申請の受付けを開始する。

事業対象者（108人）1人あたり

10,000 円

主な
経費

高齢者見守りサービス利用助成金 1,080 千円

主な
財源

一般財源 1,080 千円

ICTを活用した高齢者見守りサービス導入費用の一部を助成します

上限 1万5千円（1世帯1回限り）
8月から申請受付開始

65歳以上のひとり暮らしの方が
ICTを活用した見守りサービスを導入した場合、
サービス提供事業者を支払う初期費用
(初期費用又は月額利用料を最大3か月分)
を助成します！



離れて暮らすご家族による
見守りを支援します！



助成の対象となる見守りサービスは市が指定しているものに限りです。

助成対象となるサービス(例)

- ・ LEDとSIMが一体化した電球を設置し、
点灯、消灯の状況により異常を検知し通知するもの
- ・ 空間センサー等により異常を検知し通知するもの
- ・ 冷蔵庫にセンサーを設置し、一定時間開閉がないと通知するもの

助成の申請は、初期費用又は
月額利用料（補助対象分）の支払
後になります。

※ 4月以降に契約し、利用開始
したものが助成対象

拡

子ども医療助成事業

担当課

市民健康部保険年金課
0586-28-90132025年度
事業費

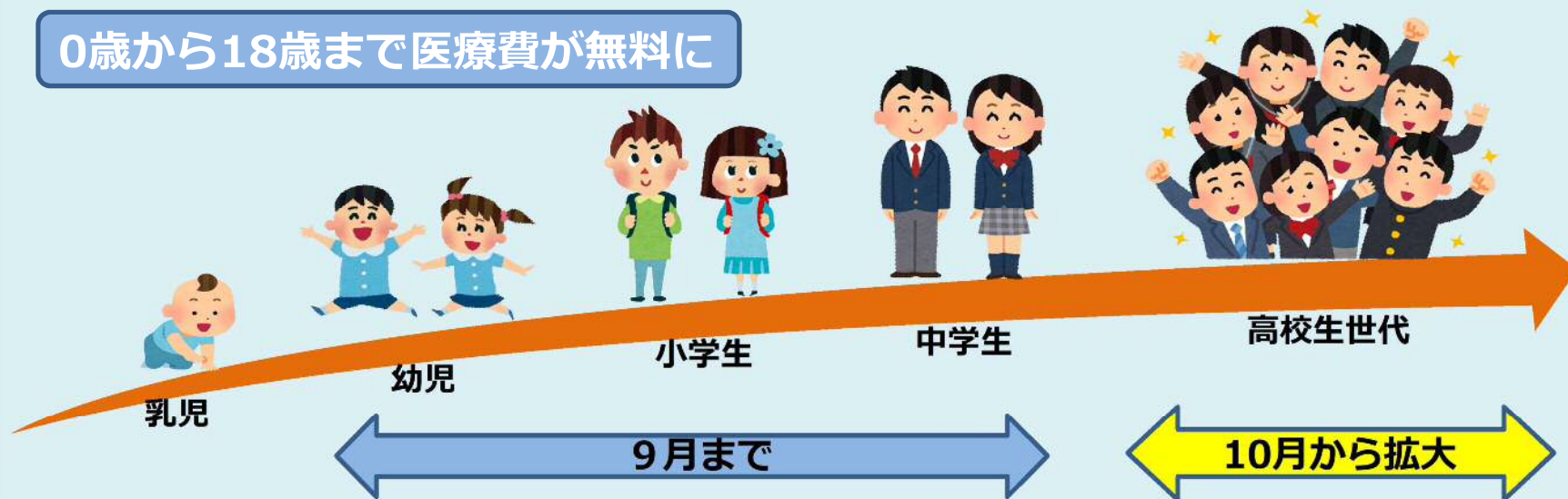
24億1,941万円

中学生(義務教育終了)までの入院・通院と、高校生世代(18歳に達する年度末まで)の入院の助成に加え、10月から高校生世代の通院医療費の保険診療分の自己負担額を助成する。対象の高校生世代に申請により医療費受給者証を交付する。

未就学児15,796人、小中学生26,855人、高校生世代11,335人(53,986人) 1人あたり		44,815 円
主な 経費	医療給付費	2,305,455 千円
	総合行政システム改修業務(標準化対応)委託料	45,261 千円
	医療費審査支払手数料	32,001 千円
主な 財源	県	412,201 千円
	その他	16,000 千円
一般財源		1,991,208 千円

ー10月から高校生世代の通院医療費も無料にしますー

0歳から18歳まで医療費が無料に



対 象	中学生以下	高校生世代
通 院 費	無 料	自己負担あり
入 院 費	無 料	無 料

高校生世代
無 料
無 料

06 保育料を2人目から減免します



予算概要説明資料

65・66・68・69

ページ

編成公開シートNo.

子ども家庭部No.23・25・34・37

拡 第二子保育料減免事業

担当課 子ども家庭部保育課
0586-28-9024

2025年度
事業費

3,173万円

2025年10月から、第三子以降の3歳未満児の保育料を減免する事業の対象を第二子に拡大する。さらに市独自施策として、ふたごで入所した場合は所得制限を撤廃し、2人目の保育料を無料とする。

対象児童（352人）1人あたり			90,130 円	
主な経費	利用者負担金の歳入減	25,484 千円	主な財源	一般財源
	地域型保育給付費	5,018 千円		31,726 千円
	施設型給付費	1,224 千円		

— 保育料を2人目から減免 —

現状

対象 18歳未満の児童が3人以上いる
世帯の3人目以降の児童

拡大

10月から

県内一斉

対象 18歳未満の児童が **2人以上いる**
世帯の2人目以降の児童

- 3歳未満児の保育料について、減免の対象を拡大
- 減免内容は、世帯の所得に応じ無料または半額
(所得制限により対象外になる場合あり)

市独自

ふたごの2人目は、所得制限なしで
一律無料！



臨

保育所・学校等給食費負担軽減事業

担当課

子ども家庭部保育課 0586-28-9024
教育部学校給食課 0586-28-86502025年度
事業費

7,240万円

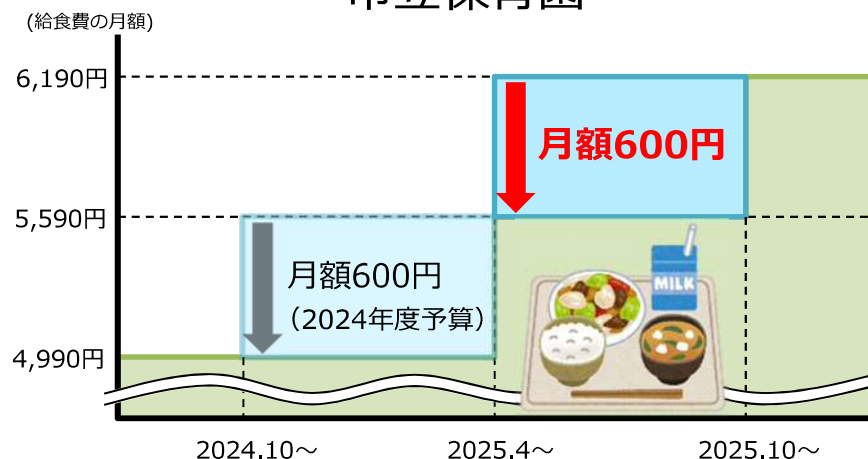
物価高騰の影響が長期化する中、給食費の負担を軽減することで、子育て世帯を支援する。
 保育園等においては、4月から9月の間、園児1人・1か月あたり600円の補助(値上げの抑制を含む。)を行う。
 小中学校においては、1学期の間、1食あたり小学校15円、中学校20円の補助を行う。
 2024年度3月補正で、保育園等の2024年10月から2025年3月の間の補助を同様にを行う。

保育園児、小中学校の児童生徒等(40,403人)1人あたり			1,792 円
主な 経費	賄材料費(市立保育園)	20,528 千円	主な 財源
	私立保育園運営補助金等	18,839 千円	
	学校給食費保護者負担軽減補助金	33,035 千円	
			国 72,402 千円

－ 給食費の保護者負担を軽減します －

給食の質・量を維持しつつ、子育て世帯向けに物価高騰に対する支援を行います。

市立保育園



私立保育園、幼稚園等においても、給食費の値上げを抑制するため、園児1人あたり月額600円の補助を行う。

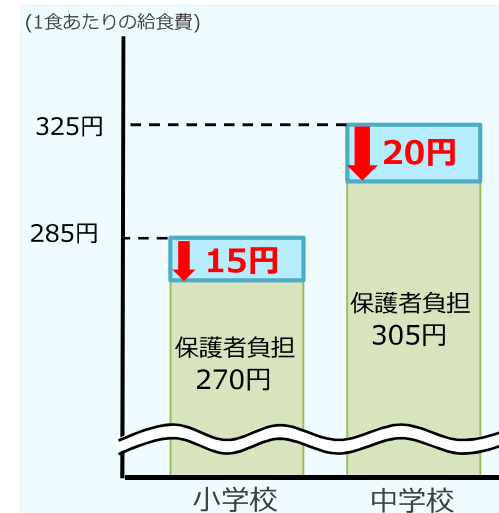
市立小中学校

期間 1学期(4月～7月)

補助額

【小学校】1食あたり15円

【中学校】1食あたり20円



臨

新保健所整備事業

担当課

保健所保健総務課ほか

0586-52-3851

2025年度

事業費

19億9,231万円

事業期間

2022 ～ 2025 年度

総事業費

35億5,736万円

市民の健康を支えるため、食中毒などの原因を究明する細菌検査室・遺伝子検査室や食品添加物などを検査する理化学検査室、結核や性感染症の検査を行う感染症検査室を設置し、健康危機管理の専門的・技術的拠点となる一宮市新保健所を建設、整備する。

一宮市2024.10.1現在人口（377,234人）1人あたり

5,281 円

主な
経費

建設工事請負費 1,586,930 千円

初度調弁費 351,567 千円

建設工事監理業務委託料 24,480 千円

主な
財源

国 26,582 千円

市債 1,405,600 千円

いちのみや
応援基金 75,787 千円

新保健所の建設 ～健康危機管理の専門的・技術的拠点～

施設の概要



完成イメージ図

4階 大会議室 中会議室

3階 細菌検査室 遺伝子検査室

2階 感染症検査室 理化学検査室

1階 受付窓口 執務室

安全実験室の設置

細菌検査室内の安全実験室で、高度な微生物検査が可能になり、患者や接触者に対し迅速な対応が可能に

食品関連の分析機器の導入

市が直接検査を行うことで、調査や回収等の行政指導等を迅速に行うことが可能に

スケジュール

7月 竣工

11月4日 開所（予定）



所在地 和光2丁目

敷地面積 4,066.67㎡

延床面積 4,162.21㎡

構造 鉄筋コンクリート造4階建

駐車場 49台



新

いちのみや未来エネルギー(株)の寄附金活用事業

 担当課 環境部環境政策課 0586-45-9953
 活力創造部産業振興課 0586-28-9130
2025年度
事業費

1,358万円

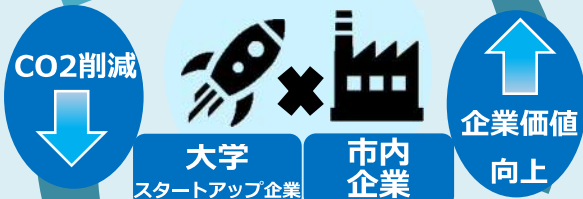
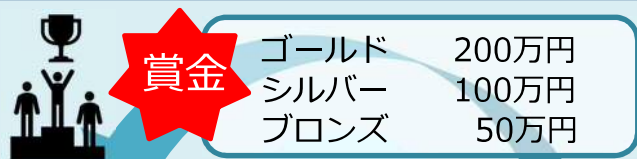
いちのみや未来エネルギー(株)の利益を地域の課題解決に活用し、地域脱炭素の機運を醸成することを目指し、脱炭素に関する特に優れた取組を行う企業を学識経験者等によりコンテスト形式で審査、表彰を行う。また、並行して製造業小規模企業者補助を行い、製造業のサプライチェーン存続を支援するとともに、小規模企業者のSDGs推進への取組を支援する。

一宮市2024.10.1現在人口(377,234人) 1人あたり		36 円
主な経費	ビジネスコンテスト賞金	3,500 千円
	SDGs推進支援補助金	10,000 千円
主な財源	環境保全基金	2,000 千円
	一般財源	11,580 千円

～地域新電力会社の利益を地域課題の解決に活用します！～

脱炭素をテーマとしたビジネスコンテスト

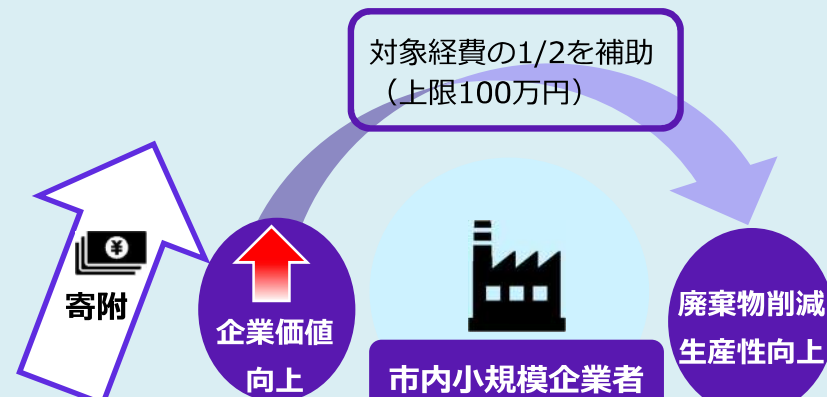
- 脱炭素に資する新ビジネスの創出や新製品の製造・加工
- 地域に貢献する脱炭素の取組 など 【予算358万円】



大学・スタートアップ企業と市内企業との協業等による脱炭素化を支援

SDGs推進をテーマとした製造業の小規模企業者補助

- 生産管理システムの導入
- 繊維産業生産設備の移設
- 実証実験のための機器導入 【予算1,000万円】



製造業のサプライチェーン存続を支援するとともに、小規模企業者のSDGs推進への取組を支援

地域新電力会社
いちのみや未来エネルギー(株)

臨 いちのみやの魅力発信事業

担当課 活力創造部観光交流課
0586-28-9131

2025年度
事業費

8,480万円

【おりもの感謝祭一宮七タまつり支援事業】

本市最大の観光行事であり、一宮市を全国に宣伝し、観光客の誘致により、地場産業振興と地域の活性化に繋げる。

【BISHU FES.支援事業】

「尾州を見て、触れて、購入してもらう」ことを目的に、ファッション・アート・食に関するイベントを同時に開催し、幅広い世代の誘客を図る。

来場者（1,043,900人）1人あたり		81 円
主な 経費	おりもの感謝祭一宮七タまつり協進会負担金	54,799 千円
	尾州フェスティバル開催事業負担金	30,000 千円
主な 財源	国	18,400 千円
	いちのみや 応援基金	5,000 千円
	一般財源	61,399 千円

第70回おりもの感謝祭一宮七タまつり

「昭和100年」をコンセプトとして、七タまつりの歴史を振り返りつつ、レトロ感を意識した飾り付けやイベントを開催

日程：7月24日（木）～7月27日（日）

会場：i-ビル、銀座通り、本町商店街、真清田神社周辺

- 70回記念事業の実施
- 盆踊り会場の拡大

（サブステージをラウンドアバウトに増設）



BISHU FES.（尾州フェス）

～世界のブランドが恋するBISHU～

注目イベント

TGC（東京ガールズコレクション）とのコラボ企画
「新規デザイナー発掘プロジェクト」を開催

日程：11月（土日2日間）

会場：i-ビル、銀座通り、本町商店街

- ファッション関連イベント
- 尾州製品販売
- ワークショップ
- 飲食ブース出展
- アート展示 等



新

道路舗装診断AI活用事業

担当課

建設部道路課
0586-28-86402025年度
事業費

161万円

舗装点検の確実性を高めるため、車両にスマートフォンを搭載し、連続撮影した画像から道路の路面状態をAI解析で自動判定する新技術を活用する。

路面状態（ひび割れ、わだち掘れ、縦断凹凸）の診断結果を使用して、舗装の維持管理をより効率的・効果的に実施する。

一宮市2024.10.1現在人口（377,234人）1人あたり

4円

主な
経費

AI舗装診断システム使用料 1,606千円

主な
財源

一般財源 1,606千円

- AIを活用した舗装診断を実施 -

路面状態

舗装の損傷レベルを**見える化**

イメージ図



スマートフォン設置状況



プラス
客観的**判断！**

劣化度合いに
応じた修繕

修繕の効率
アップ！

安全性・快適性
アップ！

拡

河川等水位情報再構築事業

担当課

建設部治水課
0586-28-86422025年度
事業費

2億1,392万円

事業期間 2025 ～ 2035 年度

総事業費 4億4,299万円

現システムに搭載済みの機能を継承しつつ、浸水センサー、ライブカメラの導入による観測手法の追加、国・県など他所管のデータ集約、雨雲レーダーや洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）との重ね合わせによる情報の一元化等を行う。迅速な災害対応を行い、市民の避難行動を支援する。

一宮市2024.10.1現在人口（377,234人） 1人あたり

567 円

主な
経費

システム更新業務委託料 213,917 千円

主な
財源

国 100,000 千円

市債 83,900 千円

一般財源 30,017 千円

～「河川等水位情報」のシステムをパワーアップ～

【現システム閲覧画面】

【既設観測局】

- ▲ 水位観測52箇所
- 雨量観測 5 箇所

クラウドに集約

クラウド

PCで閲覧

スマホでも浸水箇所情報の取得が容易に！

道路冠水の
見える化！

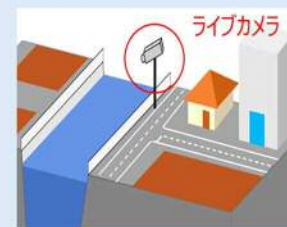
【プラス】

【浸水センサー設置】

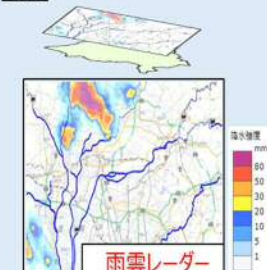
浸水を検知し、システムに表示

河川状況等の
見える化！

【ライブカメラ設置】

河川や浸水リスクが高い
地点の様子を監視災害危険度の
見える化！

【レイヤ表示】

雨雲の様子をリアルタイム
表示

13 浅野交差点の渋滞緩和に向けて



予算概要説明資料

114

ページ

編成公開シートNo.

建設部No.46

新

岩倉街道線道路改築事業

担当課

建設部道路課
0586-28-9144

2025年度
事業費

1,100万円

事業期間 2025 ～ 2030 年度

総事業費 5億円

本路線は、中心市街地から国道22号へと進行する車両が多く、慢性的な渋滞発生が課題となっていることから、浅野交差点西側の右折レーンを延伸整備することで車両通行をスムーズにし、渋滞損失時間の減少、安全で快適な通行を確保するものである。

一宮市2024.10.1現在人口（377,234人）1人あたり 29 円

路線測量・交通量調査・予備設計 11,000 千円

主な
経費

一般財源 11,000 千円

主な
財源

ー 右折レーンを整備し車両通行をスムーズに！渋滞を緩和 ー

現状

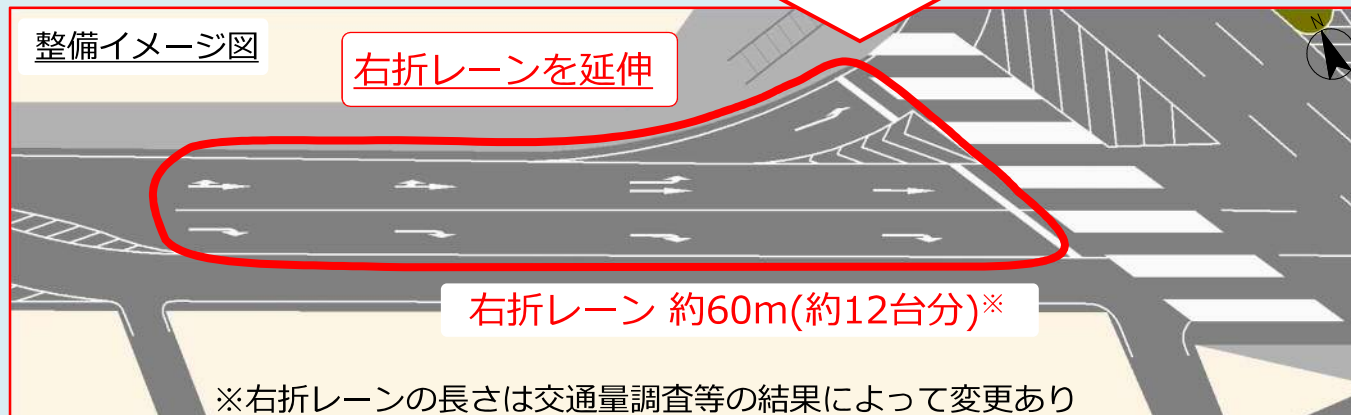


右折レーン 約15m(約3台分)

整備後

整備イメージ図

右折レーンを延伸



右折レーン 約60m(約12台分)*

※右折レーンの長さは交通量調査等の結果によって変更あり



渋滞発生！



臨

富田山公園再整備事業

担当課

まちづくり部公園緑地課
0586-28-86352025年度
事業費

2,548万円

自然に親しむ場を確保し、公園の利用増進及び賑わいの創出を目指し、2025年度は、旧尾西プール跡地周辺において、Park-PFIなど民間活力を導入するため、民間事業者に対して整備計画を公募し、基本協定を締結する。

一宮市2024.10.1現在人口（377,234人）1人あたり

67 円

主な
経費

富田山公園再整備業務委託料 25,300 千円

公募設置選定委員報酬 182 千円

主な
財源

一般財源 25,482 千円

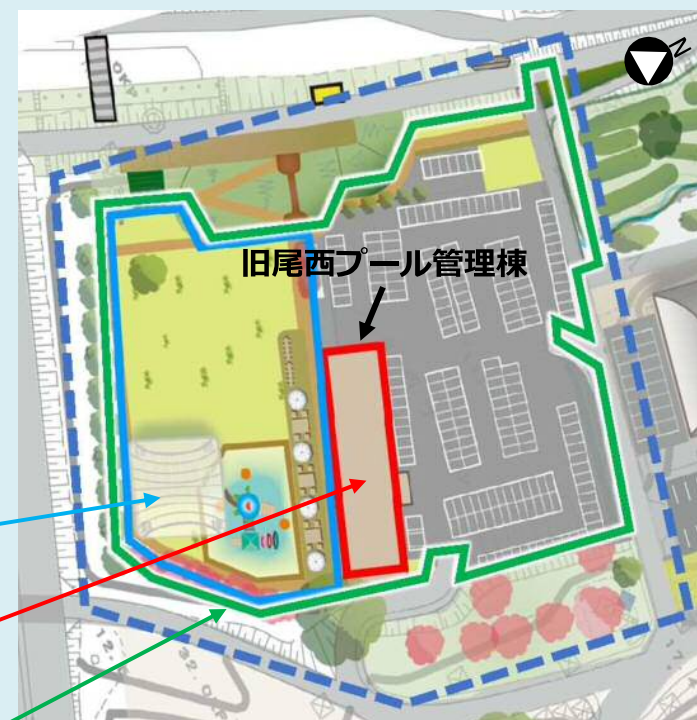
－ 民間活力を活かした自然豊かな公園に向けて －



民間事業者のアイデアと収益を活用して整備するエリア
整備例：大屋根付イベントスペース、水遊び場等

公募により民間事業者が提案し、整備・管理する収益施設
収益施設例：レストラン、カフェ等

民間事業者のノウハウを活用した手法により管理委託するエリア
活用事例：大野極楽寺公園、ツインアーチ138等



【イメージ図】

臨

大野極楽寺公園整備事業

担当課

まちづくり部公園緑地課
0586-28-86352025年度
事業費

9,100万円

緑豊かな大野極楽寺公園において、子どもたちの成長を促す自然体験の場、そして市民のレクリエーションの場として、キャンプサイトを整備する。

また、一宮市公園施設長寿命化計画に基づき、誰もが安全で安心して利用できる公園とするため、老朽化した遊具等の更新を行う。

一宮市2024.10.1現在人口（377,234人）1人あたり

241 円

主な
経費

複合遊具工事請負費 61,000 千円

キャンプサイト工事請負費 30,000 千円

主な
財源

国 30,000 千円

市債 27,000 千円

一般財源 34,000 千円

－ 新たな遊具とキャンプサイトによる更なる賑わいの創出 －

キャンプサイトの整備

完成イメージ



キャンプサイト 8区画

2026年4月オープン予定

相乗効果により、お子様から大人まで遊べる公園へ



複合遊具の更新

現況（利用停止中）



イメージ図



2026年4月利用開始予定

臨 スマートIC設置検討・区画整理促進事業

担当課 まちづくり部都市計画課 0586-28-8632
まちづくり部区画整理課 0586-85-7019

2025年度
事業費

2億3,171万円

名神高速道路へのアクセス性向上や一宮インターチェンジ付近の渋滞対策のため、尾張一宮PAスマートインターチェンジ（仮称）の設置に向けた検討を岩倉市とともに進める。

また、スマートインターチェンジを活用した産業や交流機能の立地誘導を図るため、土地区画整理事業の事業化に向けた検討を進める。

一宮市2024.10.1現在人口（377,234人）1人あたり		614 円
主な 経費	スマートインターチェンジ詳細検討業務委託料	95,507 千円
	区画整理促進調査委託料	27,300 千円
	区画整理事業調査委託料	59,480 千円
主な 財源	国	22,400 千円
	岩倉市負担金	47,753 千円
	一般財源	161,557 千円

－ 尾張一宮PAスマートIC(仮称)の実現と産業・交流拠点の創設 －



区画整理事業化促進事業

発起人会
2025年設立予定

- 組合設立に向けた準備
- 測量・設計を実施
- 県等と区画整理に関する協議
- 民間事業者等との調整

※事業化促進について、すでに地権者の9割を超える賛同を得ている

地域活性化

整備
効果

周辺地域の雇用増

高速道路アクセス

交通安全/渋滞緩和

スマートIC設置検討事業

国がスマートIC
の必要性を確認
国が直接調査に着手

- 事業化に向け国等と協議
- 地質調査を実施
- 測量・設計を実施

臨 消防緊急通信指令システム更新事業

担当課 消防本部通信指令課
0586-72-1191

2025年度
事業費

13億894万円

事業期間 2023 ～ 2025 年度
総事業費 13億1,202万円

稲沢市と共同運用している高機能消防指令センターの消防緊急通信指令システム及び消防救急デジタル無線設備をリニューアルする。2026年度のシステム運用開始に併せて指令センターとビデオ通話を可能にする映像通報システム、災害現場の映像を指令センターや現場指揮本部で視聴できるようにする映像伝送システムを導入する。

119番受付件数（12年運用を想定）（436,764件）1件あたり		2,996 円
主な 経費	高機能消防指令センター等更新委託料	1,306,411 千円
	緊急通報受理回線異経路構築工事負担金	1,617 千円
	施設整備工事請負費	670 千円
主な 財源	市債	820,800 千円
	稲沢市負担金	457,807 千円
	一般財源	30,333 千円

コール119システムリニューアルーより安心・安全な消防体制へー

現在のコール119システム

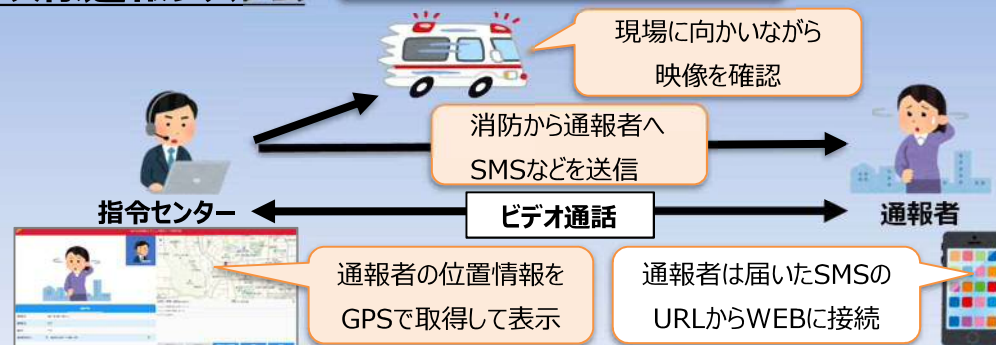


機能強化

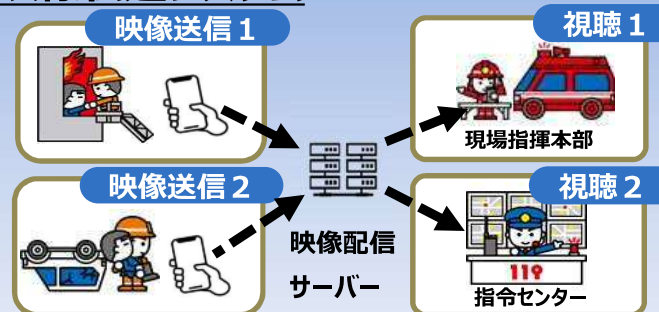
- ・消防署所に駆込通報装置を設置
- ・出勤確認用カメラを設置

映像通報システム

2026年度から運用開始



映像伝送システム



現場映像をリアルタイムに指揮本部や指令センターと情報共有することができ、より有効な現場活動が可能

臨

市民会館バリアフリー関連改修事業

担当課

活力創造部指定管理課
0586-85-70802025年度
事業費

9,980万円

一宮市民会館において、屋根付き障害者等優先駐車場増設、施設外西側動線への屋根設置と路面改良、3階多目的トイレ等への改修、授乳エリアの設置、多目的ルームの設置、外階段の傾斜改善と滑り止め加工と手すり増設等の改修を行う。

施設利用者(15年間)(1,930,530人) 1人あたり		51 円
主な経費	工事請負費	99,800 千円
主な財源	国	14,170 千円
	市債	52,600 千円
	いちのみや 応援基金	33,000 千円

～ 新たなバリアフリー基準を満たし、障害者や高齢者、小さな子ども連れの方にも使いやすく ～

屋根付き障害者等優先駐車場の整備



※完成イメージ

西側動線へ屋根設置・路面改良



※完成イメージ

3階多目的トイレ、授乳エリア、多目的ルーム設置



※完成イメージ

- 外階段の傾斜改善と滑り止め加工と手すり増設
- ホール舞台左右に巻上式スクリーン設置
- 2階ホワイエ床材更新
- ホール正面出入口の防音扉更新
 - ・ 既存エレベーターのリフォーム(検討中)

ホールの天井・座席などの工事休館期間に実施

休館期間

2025年										2026年									
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ホール	休館																		リニューアルオープン
第1～4会議室	休館																		
大会議室	休館																		

新

屋内運動場空調設備整備事業（中学校）

 担当課 教育部総務課
0586-85-7071

 2025年度
事業費

3億4,217万円

良好な教育環境を確保するため、また、災害時には避難所となる屋内運動場への空調設備の整備を進める。また、築年数が古い屋内運動場については、空調設備の整備にあわせて建て替えを進める。2025年度は3校の屋内運動場に空調設備を設置し、1校の屋内運動場の建て替えに向けて設計を委託する。

対象の学区の市民（84,557人）1人あたり		4,046 円	
主な 経費	各校空調設備設置工事請負費	301,000 千円	主な 財源
	設計委託料	41,165 千円	市債
			一般財源
			12,565 千円

－ 中学校の屋内運動場に空調設備を整備します －

空調設備を設置

【屋内運動場の現状】

- 暑さ指数が31℃以上になると体育の授業や部活動は原則中止
- 災害時の避難所に指定されている



赤枠は設置イメージ（出典：文部科学省ウェブサイト）

安全・安心で良好な教育環境の確保

避難所機能の強化

2025年度に実施する学校

【空調設備設置工事】

北部中学校、奥中学校、尾西第一中学校

【建て替え工事設計委託】

千秋中学校

今後の計画

空調設備を全ての中学校に順次整備します。
老朽化した屋内運動場については、建て替えと
空調設備の整備をあわせて進めていきます。

臨

市川房枝記念事業

担当課

活力創造部博物館管理課
0586-46-3215

2025年度
事業費

590万円

市川房枝長兄の子息(甥) 市川雄一氏からの寄附を活用し、市川房枝を顕彰する記念事業を行う。1945年12月の選挙法改正により、女性参政権が実現した80年の年にあわせて、運動の中心的役割を担った市川房枝の生涯、当時の社会状況の中で市川房枝を支えた家族や地域に焦点をあてたシンポジウムと展覧会を開催する。

シンポジウムと展覧会参加者(3,200人) 1人あたり

1,843 円

主な
経費

市川房枝シンポジウム運営委託料	1,540 千円
通信運搬費	1,508 千円
印刷製本費	1,161 千円

主な
財源

いちのみや
応援基金

5,900 千円

～ 女性参政権実現80年 社会運動家 市川房枝の原点を探る ～ シンポジウム と 展覧会 を開催

市川房枝シンポジウム

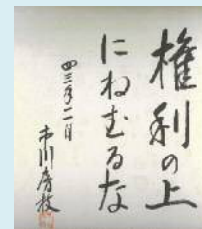
入場無料

特別展「市川房枝」

会 場 尾西市民会館大ホール
日 時 1月25日(日) 13:30 ～16:00
内 容
1.上映「市川房枝の物語」
2.座談会
「地域住民が語る市川家との思い出」
3.特別対談「市川房枝と当時の社会」
研究者を一堂に会し、最新研究から市川房枝の実像や魅力に迫る。

会 場 一宮市尾西歴史民俗資料館
特別展示室
期 間 12月13日(土)～2月15日(日)
内 容
市川房枝記念会が所蔵する資料や地元に残る資料から、女性参政権実現への道のりを紹介する。

市川房枝が支援者
に贈った色紙



市川房枝 (1893.5.15-1981.2.11)

1893年(明治26年)に中島郡明地村(現在の一宮市明地)に生まれ、87歳で亡くなるまで、女性の地位向上とより良い政治のためにその一生をささげた、一宮市が誇る名誉市民。長い活動の結果、女性の選挙権を実現させた。



「近代日本人の肖像」
(国立国会図書館)

2025 (令和7)年度
一宮市の予算

イチ推し20